

## 令和元年度客員研究員招へい事業による講演会を開催

県内のニホンナシ産地では「ナシ黒星病」「ナシ萎縮病」等の難防除病害の対策に苦慮しています。「ナシ黒星病」に関しては落葉処理の効果を確認していますが、もう一つの伝染源の芽基部病斑対策が課題となっています。「ナシ萎縮病」は病原菌が特定されていますが、有効な対策が無いのが現状です。

そこで、令和元年6月27日に果樹研究センターにて、これらについて様々な研究を実施し多くの成果を発表している千葉県印旛農業事務所改良普及課の普及指導員 金子洋平氏を講師に招き、「ナシ黒星病およびナシ萎縮病の研究方法について」の演題で、県果樹関係者を対象とした講演会を開催しました。また、ナシ生産者園地や当センター試験ほ場を視察し、関係者と意見交換を行いました。

講演会や現地視察において、当センター試験課題についてのアプローチ方法や調査手法等への助言をいただくとともに、新たな視点や、これまでにない知見を得ることができ、当センターにおける研究をより高度なものとするための有意義な講演会となりました。



講演会の様子



現地視察の様子